

松山大学

一般入学試験

「英語」 受験対策 講座

高松高等予備校 英語科 道久雅昭

• • • | はじめに

講師自己紹介

• • • | 自信ありますか??

- 今まで、全然受験勉強してない!
- 何をどう勉強していいか、分からない!

→大丈夫です! 傾向と対策を知り、この瞬間から受験勉強を始めれば十分間に合います!

• • • | 本講座の目標

- 松山大入試英語の傾向を知ること
- 実際の入試問題に取り組んで、今後の受験勉強のポイントを掴むこと

これら二つが本講座の目標です！

• • • | 偏差値ではなく合格最低点

- 偏差値とはある特定の試験の成績における自分の位置を示す一つの尺度にし過ぎない。
- 松山大の合否を決するのは実際の入試(Ⅱ期)で65～60%取れるかどうか！

• • • | 松山大合格に必要な勉強をする

• 入試結果は必ずしも(偏差値順の)ランキング表通りではない。

• 松山大に現役で合格したいならば、その入試の傾向を熟知し、徹底した対策を行うべき!

• • • | 入試問題の
概要

・・・ | 試験時間と問題数・構成

- ・ 70 分
- ・ 大問数は 3 題，全てマーク式で，総マーク数は 40 個
- ・ 1 長文読解，2 空所補充(・誤り指摘)
3 語句整序・対話文(・誤り指摘)
- ・ 年度毎に若干の変更あり！(発音など)

・・・ | 難易度と特徴

- ・ 全体的に見て，平易な問題が多く，特別な対策は不要。但し，ある程度，問題慣れしておかないと時間切れになる可能性もある。
- ・ 日程や学部による違いがほとんど見られないので，自分が受験しない日程・学部の問題も練習材料として積極的に活用すべき！

• • • | 設問毎の分析～大問 1

- 約 500 語の長文読解総合(設問数 15)
- 空所補充, 下線部説明, 内容一致(段落毎 / 文章全体) (発音)
- 目標解答時間 35 分

• • • | 設問毎の分析～大問 2

- 空所補充(+誤り指摘) (設問数 15)
- 目標解答時間 15 分

・・・ | 設問毎の分析～大問 3

- A 語句整序[日本語あり](設問数 5)
B 対話文選択(*or* 誤り指摘)(設問数 5)
- 目標解答時間 20 分

・・・ | 目標得点率

最低 65%

- 実際の合格最低点はもっと低い場合が多いが、英語は主要科目であるのでやや高めの目標設定とする！
- 当然、個人毎に目標点は異なる！英語が得意な人はもっと高得点を狙うべきだし、そうでなければ他の科目でカバーすることを考える。まずは、自分なりの目標点を考えてみよう！

・・・ | やるべき勉強の内容

- ・ 過去問演習(赤本を解く)
- ・ 単語
- ・ 文法・語法
- ・ 会話
- ・ 長文読解

・・・ | やるべき勉強① 過去問演習 (赤本を解く) [その1]

なるべく数日中に松山大の入試問題1セットを70分で解いてみる。

→出来が悪いのは当たり前！それにめげない！『自分の今の力』と『松山大が要求するレベル』との差を体感することが目的。そこから自分なりの課題と対策が明確になる！

• • • | やるべき勉強① 過去問演習
(赤本を解く) [その2]

- 得点率が60%以上の人

→ 現段階でまずまず学力を持っている。
今後さらにそれに磨きをかければ本番
の入試で65%以上の得点が狙える。
各分野毎の補強練習に加えて、1週間に
1セットは過去問演習を取り入れて
実践力を高めていけばよい。(もちろ
ん、復習にもしっかりと時間をかける)

• • • | やるべき勉強① 過去問演習
(赤本を解く) [その3]

- 得点率が60%未満の人

→ 過半数の現役生がこの状態のはず。
自分の得点率が低い分野に優先的に時
間を割いて弱点補強を心掛ける。制限
時間付きで過去問1セットに取り組む
のは11月初旬まで延期すべき。

••• | やるべき勉強② 単語

- 単語はあらゆる分野の土台となる。
- 現役生は学校指定の単語集を繰り返し徹底的に覚える。(あれこれ手を出さない)
- 学校の授業テキストに出てくる単語も貪欲に覚える。
- 共通テスト型模試に出てくる単語も積極的に吸収する。

••• | やるべき勉強③ 文法・語法

- 学校指定の問題集(ネクステージ, 即戦ゼミなど)に繰り返し取り組む。
- 整序英作文は単語・文法・語法の知識が充実してくる10月半ば頃から本格的に取り組む。また, その下準備として『英語の構文 150』などの構文系参考書に載っている例文の暗唱(日本語→英語の変換作業)に取り組むのも効果的。

••• やるべき勉強④ 会話

- 文法・語法対策で用いる問題集には必ず会話表現の項目が含まれているので、それを徹底的に利用して会話特有の表現を完全に身につける。
- 他大学の同種の問題にもチャレンジ。但し、問題レベルを考慮する。

••• やるべき勉強⑤ 長文読解

- 学校の授業で使用している長文問題集，共通テスト型模試，松山大の過去問が当面の練習材料。
- 1つの長文に対して，制限時間を設けての速読→文構造の細部にまでこだわった精読→音読(最低5回，出来れば10回)という3種類の読み方を連続して行う。全文訳付きのものが望ましい。最初にやった時から10~14日あけて必ず2回目の速読→精読→音読を行う。その際には書き込みをしていないプリントなどを用いる。

••• | やるべき勉強⑥ 長文読解(テクニク)

- 論説・評論文は“One Topic for One Paragraph”の原則に基づいて書かれているので、速読の際にパラグラフ(=段落)毎のトピック(=主題, 要点)を日本語でメモしておく。トピックはパラグラフの第1文で示されることが多い。それらが設問の対象になる可能性も高い。

問題別・合格のための実践講座

2022年 経済・経営・人文・法・薬学部問題
2月9日(水)実施

時間効率を最優先しながらも、文章全体の流れを常に意識する！

大問1のような長文を35分程度で処理するために以下のような方法がお薦め。

①まず、本文を読み進めながら、下線部(ア)、(イ)、空所(a)などの問題に解答し、段落毎の topic を日本語でよいから問題用紙の余白にメモしておく。二重下線部(B)まで解答し終えて全文の内容を一通り頭に入れる。

②次に、4)の本文の内容に合致しないものを選ぶ問題と5)のタイトルを選ぶ問題に解答する。その際に、読みながらメモした各段落の topic を参考にする。

原則としては、1)～3)の部分毎で解答できるものを先に処理し、全体の内容を把握した上で、4)・5)に取り掛かる！

その上で、4)の③の選択肢に着目する。

4) ③ Within two years after returning to Apple, Jobs said “no” to 1,000 products. 「アップル社に戻ってから2年以内に、ジョブズは1,000個の製品の生産を止めた。」正解 第6段落(=4.の項目)第3文に合致しない。say no to ～は、通例、「～に対してノー(or 嫌だ)と言う」という意味だが、比喩的に用いて、「～に反対する、～を拒否(or 否認)する」という意味を表すことが多い。ここでは会社の現場でのことなので「～の生産を止める」ぐらいの意味。この段落の第1文に1,000 things とあるが、これは具体的な数値ではなく、多数であることを表す一種の誇張表現。**数値などの表面的な合致に惑わされないようにしよう！**

title は文章全体を総括するものでなければならない！(部分的な合致だけではダメ！)

5)

①「スティーブ・ジョブズの貢献の歴史」

②「スティーブ・ジョブズがアップル社を離れ、またそこに戻って来た理由」

- ③「私の優れた上司であるスティーブ・ジョブズ」
- ④「私たちはどのようにしてスティーブ・ジョブズを打ち負かすことができるのか」
- ⑤「スティーブ・ジョブズが次にやろうとしていること」
- ⑥「スティーブ・ジョブズと成功への7つの原則」正解 第2段落以降で述べられているように、筆者はジョブズの経歴と人生を研究し、そこから彼の成功を支えた原則と価値観を導き出し、それらを読者に伝えるためにこの記事を書いたのである。

①、②は部分的に合致するが、文章全体の主題(or テーマ)ではない。

紛らわしいもの同士を区別できるのが本物の学力！

実社会に出てどんな分野で仕事をするにしても、一人前の社会人として認められるために必要とされるのが、その分野に詳しくない人には区別できない微妙な違いを認識できる能力！受験勉強を通じて、そうした能力を養成しよう！

2 次の1)～15)の英文中の空所を埋めるのに最も適当なものをそれぞれ①～④から一つ選べ。

7) I know, she doesn't have the ring.

- ① As soon as
- ② As many as
- ③ As long as
- ④ As far as

正解④「私が知っている限りでは、彼女はその指輪を持っていない。」as(or so) far as + S + V「[距離・範囲を表して]～する限り(で)は」cf. as(or so) long as + S + V「[期間・条件を表して]～する間は、～する限り(で)は」ex. Stay here as long as you want to.「あなたがいたい間は、ここにいなさい。」/ Any book will do as(or so) long as it's interesting.「興味深い限りは、どんな本でも結構です。」farを用いる場合と違って、longを用いる場合には接続詞ifを用いて置き換えることができる。

8) His name became them all.

- ① famous on
- ② popular to
- ③ familiar over
- ④ known to

正解④「彼の名前は彼ら全員に知られるようになった。」become known to + <人>「<人>に知られるようになる」cf. become famous to + <人>「<人>に有名になる」/ become popular with(or among) + <人>「<人>に人気が出る」/ become familiar to + <人>「<人>によく知られるようになる」

3

B 次の1)～5)の会話の下線部の中から、**表現に誤りのあるもの**をそれぞれ①～④から一つ選べ。

1)

A : Excuse me, I'm looking into this book.

①

B : Let me see — *Kokoro* by Soseki Natsume.

②

A : It's a Japanese novel.

③

B : Right. It's on the third floor, in the foreign literature section.

④

正解①→ looking for

内容から書店での会話であると判断できるので、look for 「～を探す」が適切。look into ～には①「～の中を見る、～を覗き込む」②「～を(詳しく)調べる、調査する」= examine, investigate, inspect(他)という意味がある。ex. The researcher was looking into a microscope. 「その研究者は顕微鏡を覗き込んでいた。」 / The police promised to look into the matter. 「警察はその件を調査することを約束した。」

A : 済みません、この本を探しています。

B : 見せて頂けますか、夏目漱石の『こころ』ですね。

A : それは日本語の小説です。

B : わかりました。それは3階の外国語文学のコーナーにあります。

2)

A : Here's your coffee. Is that all?

①

B : Yes, thanks. Oh, can I get a WiFi connection here?

②

A : Sure. The ID and the password are on the menu.

③

B : Right. On the way, do you know ABC Bookstore? I think it's nearby.

④

正解④→ By the way

直後で新たな話題を持ち出しているので、By the way 「ところで、話のついでに」が適切。on the(or one's) way には①「途中で、来つつあって」②「達成しつつあって」③「(赤ん坊が)おなかの中において」という意味がある。ex. I saw her on my way to the station. 「駅に行く途中で、私は彼女を見かけた。」 / An ambulance is on its way. 「救急車がこちら(or そちら)に向かっていてところです。」 / The country was on its way to becoming a welfare state. 「その国は福祉国家になる途上にあった。」 / She has two children already and another on the way. 「彼女には既に子供が2人いて、もう一人がおなかの中にいる。」

A : こちらがご注文のコーヒーです。ご注文の品はこれでお揃いでしょうか?

B : はい、ありがとう。ああ、ここはWiFiの接続がありますか？

A : 勿論です。IDとパスワードはメニューに載っています。

B : わかりました。ところで、ABC書店をご存じですか？この近くにあると思うのですが。

最後に、米国 19 世紀の作家である **Mark Twain** の名言をしっかりと肝に銘じよう！

The secret of getting ahead is getting started. The secret of getting started is breaking your complex, overwhelming tasks into small, manageable tasks, and then starting on the first one.

「前進する秘訣は、始めることである。始める秘訣は、複雑で圧倒されそうな仕事を、細かく処理しやすい仕事に分割して、それから、その最初の仕事に取り掛かることなのだ。」